

消 防 年 報

令和 7 年版（令和 8 年刊行）

入間東部地区事務組合消防本部

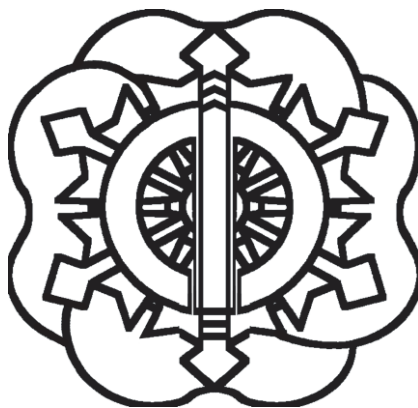
は じ め に

この年報は、入間東部地区事務組合消防本部（富士見市・ふじみ野市・三芳町）の消防力の現況と消防防災活動を取りまとめ、消防事情を広く紹介するとともに、今後の防災体制の確立に努め、火災、救急、救助活動などの資料として活用するために収録編さんいたしました。

令和8年8月

入間東部地区事務組合消防本部

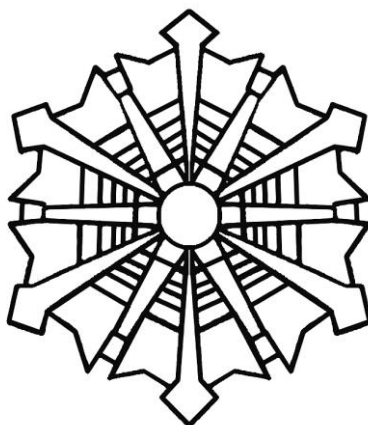
職 員 章



職員章は、入間東部地区（IRUMA TOHBU）の頭文字「I・T」を円形にデザインし、組合発足時の構成二市二町（富士見市・上福岡市・大井町・三芳町）を四葉のクローバーとして配し、消防章と合わせ図案化したものです。

円形は組合の団結を表し、四つ葉は発展を象徴しています。

消 防 章



消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、日章を中心にそれぞれホース、管そうと、筒先から放水する水柱を配し、図案化したものです。

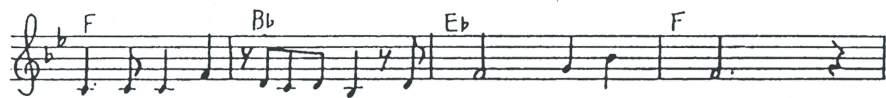
入間東部消防歌



1. あさー ひー かがや き やま な み て ら し
2. しんが しー がわー も めー くー も り て
3. ちちぶ のー かなー た はー るー か ふ じ



な が れ る か わ もー に い や は えー る
み どり の だ い ちー に い や な がー る
ひ と の す むー まー ち い や ひ かー る



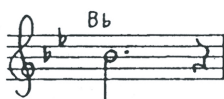
き ぼ う の さ い た ま か け る ゆ め
い に し え ぶ ん か の む さ し の を
ぜ ん し ん や く し ん ど う ど う の



あー あー ー いる ま と う ぶ の ち を ま も
あー あー ー いる ま と う ぶ の ち に つ く
あー あー ー いる ま と う ぶ の ち に い き



る わ れ らー ゆ う き の し ょ う ぼー
す わ れ らー ほ こ り の き ゅ う き ゅ うー
る わ れ らー し め い の き ゅ う じ ょ た



た い
た い
いー

入間東部消防歌

作詞・作曲 小野 晏敬

一 朝日 輝き 山峰照らし

流れる川面に いや映える

希望の埼玉 かける夢

ああ入間東部の地を守る

われら勇気の消防隊

二 新河岸川も 温りて

緑の大地に いや流る

古代文化の 武蔵野を

ああ入間東部の地に尽す

われら誇りの救急隊

三 秩父の彼方 はるか富士

住民の住む街 いや光る

前進躍進 堂々の

ああ入間東部の地に生きる

われら使命の救助隊

目 次

－ はじめに －		立入検査実施状況・・・・・・・・・・	43
		法令等に基づく各種届出状況・・・・・・・・	44
職員章・消防章・・・・・・・・・・	2	数量別危険物施設現況・・・・・・・・・・	45
入間東部消防歌・・・・・・・・・・	3	危険物施設等事務処理状況・・・・・・・・	46
目次・・・・・・・・・・	4	危険物施設に対する立入検査実施状況・	47
一目統計・・・・・・・・・・	6	自衛消防隊消防操法競技大会状況・・	48
－ 概要 －		－ 警防 －	
構成市町の紹介・・・・・・・・・・	8	消防水利現況・・・・・・・・・・	50
入間東部地区の位置と地勢・・・・・・・・	9	ホース現有数・・・・・・・・・・	50
人口等の推移・・・・・・・・・・	10	車両現勢・・・・・・・・・・	51
現有消防力の人口・世帯・面積の割合・	10	令和7年度導入車両・・・・・・・・・・	53
特別職・歴代消防長・・・・・・・・・・	11	消防相互応援協定等の締結状況・・	54
－ 消防総務 －		－ 指令 －	
消防本部・消防署・分署の配置・・・・・・・・	13	消防通信系統図・・・・・・・・・・	56
機構図・・・・・・・・・・	14	無線局一覧・・・・・・・・・・	57
沿革・・・・・・・・・・	15	覚知方法別災害等受信状況・・・・・・・・	57
事務分掌・・・・・・・・・・	26	気象状況・・・・・・・・・・	58
消防予算・・・・・・・・・・	30	気象情報受理状況・・・・・・・・・・	58
消防庁舎の現況・・・・・・・・・・	31	口頭指導実施状況・・・・・・・・・・	58
階級・年齢別職員構成状況・・・・・・・・	32		
階級・勤続年数別職員構成状況・・	33	－ 火災 －	
年度別人口と職員数の推移・・・・・・・・	34		
職員配置状況・・・・・・・・・・	35	火災の概況・・・・・・・・・・	60
職員の教育実施状況・・・・・・・・・・	36	損害額の推移・・・・・・・・・・	61
職員の特殊技能資格状況・・・・・・・・	37	火災による死傷者の推移・・・・・・・・	61
基準消防力と現有消防力の比較・・	38	用途別建物火災発生件数・・・・・・・・	61
消防音楽隊・・・・・・・・・・	39	月別火災発生状況・・・・・・・・・・	62
		時間帯別火災発生状況・・・・・・・・	62
－ 予防 －		出火原因別火災発生状況・・・・・・・・	63
防火対象物数（150㎡以上）・・・・・・・・	41		
防火対象物同意状況・・・・・・・・・・	42		

目 次

－ 救急・救助 －

救急業務の実施体制・	65
救急活動概要・	65
年別救急出場件数及び搬送人員の推移・	66
5か年の救急出場の動向・	66
救急出場種別・	67
搬送者傷病程度種別・	67
5か年の事故種別構成比・	68
救急隊による応急処置実施状況・	68
年齢区分別事故種別搬送人員の状況・	69
曜日別救急出場件数・	69
月別救急出場件数・	69
時間帯別搬送人員・	70
発生場所別搬送人員・	70
医療機関別搬送人員・	71
他の医療機関への転院搬送依頼件数・	71
医療機関別搬送状況・	72
住民に対する応急手当	
普及啓発活動の実施状況・	72
急病に係る疾病分類別年齢区分、	
傷病程度別搬送人員の状況・	73
現場到着所要時間別状況・	73
収容所要時間別状況・	73
署内救急活動事後事例研究会実施状況・	74
救助統計・	75
主な救助用資機材の保有状況・	76

－ 消防団 －

消防団車庫の現況・配置・	78
消防団の組織・	79
沿革・	80
消防団諮問委員・消防団長・	86
消防団員の定員と実員数・	87
消防団員の配置状況・	87
消防団員の年齢・	88
消防団員の勤続年数・	89
消防団車両現勢・	90

一目統計（一目でわかる入間東部地区事務組合消防本部）

令和8年4月1日現在（災害件数は令和7年12月31日現在）

面積		人口		世帯数		予算
富士見市	19.77km ²	富士見市	113,955人	富士見市	57,227世帯	令和8年度当初予算 39億3,848万8千円 （組合予算の内、消防費・ 消防公債費・諸支出金の合計） 住民1人当たり 約14,830円
ふじみ野市	14.64km ²	ふじみ野市	114,526人	ふじみ野市	56,344世帯	
三芳町	15.33km ²	三芳町	37,137人	三芳町	17,342世帯	
合 計	49.74km ²	合 計	265,618人	合 計	130,913世帯	

署所数		職員数		消防車等		救急車
消防本部	1	定 員	319人	ポンプ車 （非常用を含む）	8台	高規格救急自動車 10台 （非常用を含む）
消防署	2	実 員	303人	化学車	1台	
分 署	3	うち 女性	17人	はしご車	2台	
				救助工作車	2台	
				指揮車	1台	

その他の車両	火災件数		救助件数		救急件数
支援車 資機材運搬車 多目的搬送車 災害用バス 地震体験車 災害用モーターバイク 広報車	46件		331件		16,171件 （1日当たり、約44件）
	建 物 火 災	28件	建 物 事 故	276件	急 病 11,088件 一 般 負 傷 2,328件 交 通 事 故 724件
	車 両 火 災	1件	交 通 事 故	17件	
	その他火災	17件	火 災	29件	

119番通報受信件数	防火対象物数		危険物施設数		消防音楽隊
23, 106件 (1日当たり、約63件)	6, 198件		製 造 所	8施設	隊 員 28名 (総指揮者・支援隊員含む) R7年度演奏活動 15回
	富 士 見 市	2, 551件	貯 蔵 所	220施設	
	ふ じ み 野 市	2, 476件	取 扱 所	106施設	
	三 芳 町	1, 171件			

概要

構成市町の紹介

入間東部地区の位置と地勢

人口等の推移

現有消防力の人口、世帯、面積の割合

特別職、消防長

構成市町の紹介

富士見市



市章

中央に富士山に見える市ということで富士をおき、周囲に三本の川と旧三ヶ村の合併を意味した円を配し富士見を象徴したものです。

ふじみ野市



市章

ふじみ野市の「F」の文字を基調に、輪は市民相互の融和を表し、舟運の面影を残す新河岸川の青と、武蔵野の自然をイメージした緑を配し、萌え出る若葉から鮮やかな緑へと移り変わる様子は、まちと自然の調和を図り躍進していくふじみ野市を表しています。

三芳町



町章

三芳町の片仮名「ミヨシ」を円形にデザインし、融和と団結を表し、中央にはばたく鳥を図案化し、町の躍進と産業の発展を象徴しています。



市の木「けやき」

けやきは古くから富士見市に自生しており、現在においても市内でよく見かけ成長が早く雄大な樹姿は、富士見市の発展との結びつきを感じさせる。

昔は一本のけやきが一家の生計を救うこともあったという貴重な木でもある。



市指定天然記念物 「神明神社のけやき」

苗間神明神社の社殿裏手にあるけやきで、神社の神木とされています。

樹齢は約400年前後と推定され、高さ17m、目通りの周囲は約5m、根回り10m、枝張り9.5mに及ぶ市内最大規模の植物です。



町の木「けやき」

けやきは、町内に多く見られ四季を通じて情緒があり、早春の発芽の美しさは樹形の雄大さと共に関東の風物詩となっています。



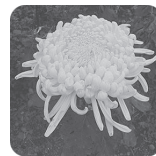
市の花「ふじ」

優雅さと気品をそなえており、ひとつひとつの花が集まって咲く様子が、人と人との語り合い団結を感じさせ、富士見市民がひとつひとつの花のように思われます。



市指定天然記念物 「地蔵院のしだれ桜」

しだれ桜は、春の彼岸に花を咲かせる江戸彼岸桜の変種です。地蔵院境内のしだれ桜は、その大きさ・古さでは市内はもとより近隣でも有名で、樹齢は350年前後と推定されます。



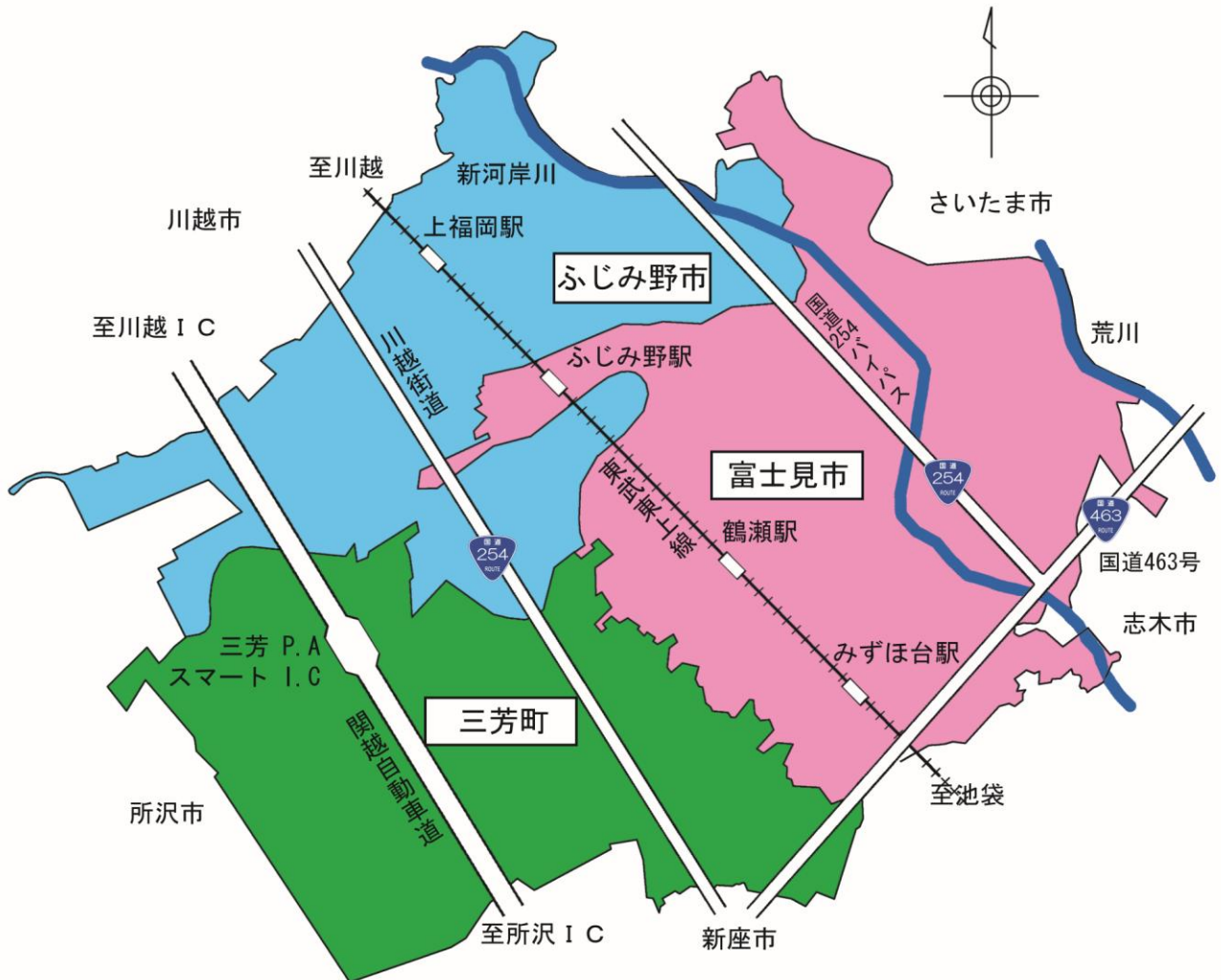
町の花「きく」

きくは、チギリグサ、モモグサなど長寿にちなむ名で呼ばれ、花の中で最も種類が多く四季を通じて町内に豊かな趣をそえています。町民の長寿を願い、春、夏、秋、冬花をみる事のできるきくは、三芳を象徴するにふさわしい花です。

入間東部地区の位置と地勢

入間東部地区管内は、埼玉県の南西部に位置し、富士見市・ふじみ野市・三芳町で構成され、東経139°30'、北緯35°52'に位置し、東は荒川を越えてさいたま市、西は所沢市、南は志木市・新座市、北は川越市に接しています。地勢は、ほぼ平坦な地域で、西から入間台地が広がり、東に荒川低地を擁した火山灰土からなる、関東ローム層の地質からなっています。

また、首都圏30キロメートルの地理的条件に恵まれ、昭和35年頃から東京のベッドタウンとして、人口急増した地区でもあります。



総面積 49.74 km²

富士見市	19.77 km ²
ふじみ野市	14.64 km ²
三芳町	15.33 km ²

東西 10.00 km

南北 8.85 km



人 口 等 の 推 移

各年4月1日現在

年 別	構成市町	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	人口密度／km ² 当り (人)
令和4年	合 計	264,710	124,412	5,329
	富 士 見 市	112,817	54,116	5,727
	ふ じ み 野 市	114,045	53,539	7,774
	三 芳 町	37,848	16,757	2,474
令和5年	合 計	264,791	125,800	5,331
	富 士 見 市	113,089	54,832	5,741
	ふ じ み 野 市	114,048	54,065	7,774
	三 芳 町	37,654	16,903	2,461
令和6年	合 計	265,046	127,439	5,336
	富 士 見 市	113,335	55,603	5,753
	ふ じ み 野 市	114,341	54,859	7,794
	三 芳 町	37,370	16,977	2,442
令和7年	合 計	265,324	129,044	5,342
	富 士 見 市	113,455	56,288	5,759
	ふ じ み 野 市	114,506	55,543	7,805
	三 芳 町	37,363	17,213	2,442
令和8年	合 計	265,618	130,913	5,340
	富 士 見 市	113,955	57,227	5,764
	ふ じ み 野 市	114,526	56,344	7,823
	三 芳 町	37,137	17,342	2,423

現有消防力の人口、世帯、面積の割合

令和8年4月1日現在

区 分	総 数	人 口 (人)	世 帯 (世帯)	面 積 (km ²)
消防職員1人当り	303 人	877	432	0.16
消防ポンプ車1台当り	9 台	29,513	14,546	5.53
救急車1台当り	8 台※	33,202	16,364	6.22
消防署1署当り（分署を含む）	5 署	53,124	26,183	9.95

※日勤救急隊運用車両を除く

管理者・副管理者（令和８年４月１日現在）

管理者	富士見市長	星 野 光 弘
副管理者	三芳町長	林 伊佐雄
	ふじみ野市長	高 畑 博

議員（令和８年４月１日現在）

富士見市	ふじみ野市	三芳町
佐 野 正 幸	前 田 広 子	本 名 洋
村 元 寛	原 田 雄 一	小 松 伸 介
川 畑 勝 弘	川 畑 京 子	林 善 美
篠 田 剛	山 田 敏 夫	池 上 義 典
◎ 田 中 栄 志	○ 塚 越 洋 一	久 保 健 二

◎議長 ○副議長

監査委員（令和８年４月１日現在）

代表	玉 田 修
議会選出	久 保 健 二

歴代消防長

	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	松 本 利 夫	昭和 45 年 11 月 1 日	昭和 55 年 11 月 30 日
第 2 代	青 木 正 三	昭和 55 年 12 月 1 日	昭和 61 年 3 月 31 日
第 3 代	杉 本 正 雄	昭和 61 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
第 4 代	浅 海 伊佐男	平成 9 年 4 月 1 日	平成 18 年 3 月 31 日
第 5 代	長 嶋 亘	平成 18 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
第 6 代	戸 口 守	平成 19 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日
第 7 代	大 島 英 男	平成 25 年 4 月 1 日	平成 26 年 3 月 31 日
第 8 代	長 堀 博 昭	平成 26 年 4 月 1 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 9 代	塩 野 浩	平成 28 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日
第 10 代	玉 田 幸 三	平成 31 年 4 月 1 日	令和 3 年 3 月 31 日
第 11 代	木 村 誠	令和 3 年 4 月 1 日	令和 5 年 3 月 31 日
第 12 代	中 川 一 諭	令和 5 年 4 月 1 日	令和 7 年 3 月 31 日
第 13 代	上 田 安 孝	令和 7 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
第 14 代	大 野 一 郎	令和 8 年 4 月 1 日	